「時、場、礼　を大切にし、自ら学び･考え
･行動できる人材」の育成をめざす

星林

令和２年６月　MONTHLY TIMES

☆いよいよ待ちに待った学校再開　～分散登校から通常授業へ～☆

３月２日から始まった臨時休業は、全国や県内の感染状況を見ながら何度か延長されましたが、６月１日ようやく３ヶ月ぶりの授業再開となりました。

これまで健康観察のための個別面談や学年別時差登校での自学自習を行ってきましたが、６月１日からは午前と午後で生徒を入れ替えた「分散登校」での授業を２週間行いました。そして６月１５日は通常どおりの時間割で全員が授業を受けました。長い間２つに分散されていたクラスがやっと本来の姿を取り戻し、１年生は入学式以来の再会で緊張感が漂っていました。そして、１６日から１９日までは休校中の課題を中心とした中間考査がありました。２２日からは、メニューや座席に制限を加えながらも生徒ホールが開業し、星林高校にも少しずつ「日常」が戻りつつあります。

県内の感染状況は落ち着いていますが、今後に予想される第二波に備えて、自身の体調管理はもちろんのこと、ソーシャルディスタンス等、周囲への心配りも忘れずに学校生活を送りましょう。

☆クラブ交流期間が始まりました☆

臨時休業期間はクラブ活動が停止でしたので、２・３年生は当然ですが、星林高校でクラブ活動を頑張りたいと考えていた１年生にとってもクラブ活動の再開は待ち遠しかったと思います。そして、６月２２日からクラブ交流期間が始まりました。

クラブ交流期間の５日間は、１年生が自由に各クラブの活動を見学して回り、クラブ側は１年生向けのパフォーマンスを行ったり、こちらから校内を回って勧誘をしたりします。その結果で１年生は所属クラブを決めるので、各クラブはそれぞれ工夫してアピールしました。

６月２４日の昼休みに玄関前で、吹奏楽部とバトントワリング部が合同でパフォーマンスを行いました。まず、吹奏楽部が２曲（「ザ・バード」「アップタウン・ファンク」）をコミカルな動きを交えながら演奏しました。続いて、吹奏楽部のテーマ曲「風になりたい」に合わせて、青い衣装を身につけたバトントワリング部が、フラッグやバトンを軽やかに操って華麗なダンスを披露しました。

６月２６日は、同じく昼休みに生徒ホール前で書道部がパフォーマンスを行いました。１０名の部員たちは、LiSA「紅蓮華」のリズムに乗って大きな筆を走らせ、次々と１年生へのメッセージを書き上げました。最後に掲げられた「勇氣」「絆」等の作品に対して、集まった生徒・先生から大きな拍手が送られました。

☆硬式野球部の独自大会　７月２７日和歌山高専と対戦決定☆

新型コロナウイルスの影響で中止された選手権大会に代わる県独自大会「2020 夏　高校野球和歌山大会」の組み合わせ抽選が６月２６日に行われました。その結果、本校は７月２７日（月）に紀三井寺公園野球場で和歌山高専と対戦することになりました。

☆7 月行事予定☆

交通街頭指導 7/1(水)　　生徒拡大保健委員会 7/1(水)　　3 年記述模試 7/4(土)
県立医科大学保健看護学部説明会 7/7(火)　　期末考査発表 7/8(水)
漢字検定 7/10(金)　　期末考査 7/15(水)～21(火)　　生徒会役員選挙 7/21(火)
ｱｼﾞｱ･ｵｾｱﾆｱ高校生ﾌｫｰﾗﾑ 7/28(火)～31(金)　　教育相談日 7/6(月)、13(月)、20(月)

ホームページ：http://www.seirin-h.wakayama-c.ed.jp